

# 産学共同研究 インターンシップ制度

株式会社タクミインフォメーションテクノロジー

# 1. 会社概要



# 2. 産学共同研究

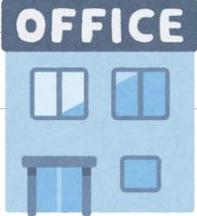
- ✓ 目的
- ✓ 実績



# 3. インターンシップ制度

- ✓ 概要
- ✓ 今年度の実績



社名	株式会社 タクミインフォメーションテクノロジー	
代表者	代表取締役 佐藤 耕一	
本社	〒171-0014 東京都豊島区池袋2-40-13 池袋デュプレックスB's 11F	
大阪支社	〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町4-3-5 FPG links MIDOSUJI 10F	
設立	1997年3月27日	
資本金	1,000万円	
従業員数	108名（2022年12月現在） エンジニア数：98名	
売上高	約11億円(2022年度見込み)	
事業内容	システム提案、開発、保守運用サービス データ管理、データ分析コンサルティング 医薬品開発におけるDM業務、データ解析業務 自社パッケージソフトウェアの開発、販売、保守サポート	

当社が産学共同研究を推進する目的は、統計手法や分析手法の共有により、学生と当社社員のデータサイエンティストとしてのスキル(主に以下の2点)を向上させることです。

## ● データリテラシーの向上



データ分析作業の約80%は、データの特性や背景の把握、データクレンジングなど分析データの構築に費やされます。産学の共同研究を通じて様々なデータを扱い、重要なスキルであるデータリテラシーの向上を目指しています。

## ● 統計解析の知識と経験の獲得

データ分析の際の統計解析の知識や経験は、それを共有することにより大きな広がりを見せます。産学共同研究を通じてデータ分析の統計的な手法や考え方を共有することにより、統計解析やデータ分析のスキル向上を目指しています。

当社はいくつかの大学との産学共同研究を進めています。白川先生との共同研究は5年ほどの実績となり、これまでの研究テーマと分析に使用したデータをご紹介します。

- 相対的貧困率の指数化の検討(2022年)
  - ✓ 全国消費実態調査、家計調査を使用した分析
- 日本の家族構成に基づく末子の性別選好(2021年)
  - ✓ 国勢調査を使用した分析
- 親の学歴からみる末子の性別選好(2021年)
  - ✓ 国勢調査を使用した分析
- カンボジア政府統計調査の研究(2019年~2020年)
  - ✓ カンボジア政府統計データベースを使用した分析
- 相対的貧困世帯に関する実証分析(2018年~2019年)
  - ✓ 全国消費実態調査を使用した分析

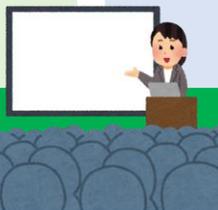


当社のインターンシップ制度は、学生の育成を目的として、前後期の2部構成でのオンライン環境で実施しています。

## 第1部

プログラミング言語習得

SAS(またはPython、R)の基礎と応用を10日間(60時間)のカリキュラムを通して学習します。



## 第2部

実データを利用した実習

業務実例を題材にビッグデータの集計解析の課題を10日間(15時間)でSAS (Python、R)を利用して取り組みます。



2022年度に開催したインターンシップの実績(立正大学)をご紹介します。



## 第1部

期間：2022年8月24日(水)～9月14日(水)の10日間  
時間：10:00～17:00(1時間のお昼休みと休憩時間を含)  
内容：SASプログラミング基礎(5日間)  
SASプログラミング応用(5日間)  
環境：リモート



## 第2部

期間：2022年11月21日(月)～12月21日(水)の8日間  
時間：14:00～17:00(適宜休憩時間を含)  
内容：SAS、Pythonを利用した  
リアルワールドデータの集計解析  
環境：リモート



ご清聴ありがとうございました



**Takumi**  
Information  
Technology

株式会社タクミインフォメーションテクノロジー

東京都豊島区池袋2-40-13 池袋デュープレックスB's 11F  
<http://www.takumi-it.co.jp>